

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年3月14日
【会社名】	トレックス・セミコンダクター株式会社
【英訳名】	TOREX SEMICONDUCTOR LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 芝宮 孝司
【本店の所在の場所】	東京都中央区新川一丁目24番1号
【電話番号】	03(6222)2851 (代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役事業戦略室長 木村 浩
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区新川一丁目24番1号
【電話番号】	03(6222)2875
【事務連絡者氏名】	常務取締役事業戦略室長 木村 浩
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、フェニテックセミコンダクター株式会社（以下「フェニテック」といいます。）との間で資本業務提携契約を締結し、フェニテックの株式を取得し子会社化することを決議し、特定子会社の異動が生じる見込みとなりましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号並びに第19条第2項第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 子会社取得の決定について

(1) 取得対象子会社に関する事項

商号	フェニテックセミコンダクター株式会社		
本店の所在地	岡山県井原市木之子町150		
代表者の氏名	代表取締役社長 伊中 正佳		
資本金の額	380,000千円（平成27年12月31日現在）		
純資産の額	5,421,966千円（平成27年12月31日現在）		
総資産の額	15,121,691千円（平成27年12月31日現在）		
事業の内容	半導体素子及び半導体製品の製造、太陽光発電装置の卸売		
最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益（単位：千円）			
決算期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
売上高	10,130,999	13,235,133	14,272,896
営業利益	355,679	1,921,651	1,144,014
経常利益	592,905	2,198,814	1,626,033
当期純利益	544,411	2,064,481	1,021,855
提出会社との関係	資本関係	取得対象子会社は、当社の株式を1,760,000株（議決権比率16.56%）保有しています。	
	人的関係	当社と取得対象子会社との間には、記載すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当社と取得対象子会社との間には、半導体素子及び半導体製品にかかる販売取引関係があります。	

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

あらゆる製品の電子制御化やネットワーク化が進展していくことに伴い、当社の事業分野である電源用半導体の市場は、今後も拡大を続けていくことが期待されます。その一方で市場から要求される製品・サービスの性能・品質は、ますます高度化していくことが予想され、当社の競争力及び成長力の維持向上のためには、こうした要求に迅速に対応していく事業基盤の確立が必須となっております。

当社グループは、「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」という経営理念のもと、創業来得意としてきた小型電子機器向け製品から産業機器・車載機器向け製品へラインナップの拡充に努めるとともに、製品開発・製造・マーケティングにおける戦略的アライアンスの機会を探ってまいりました。

フェニテックは、同社の独自設計によるトランジスタ製品及びダイオード製品の提供、顧客要求仕様に沿ったディスクリート半導体製品、バイポーラIC、COMS IC等の製造を行っています。フェニテックは当社の主要な前工程協力企業の1社であり、当社製品の約半数の前工程はフェニテックで行われております。

米国の大手アナログ半導体メーカーは、ファブレス型事業形態からスタートすることで柔軟な製品開発とコスト抑制のバランスを図りつつ、事業規模の拡大に伴って協力工場と自社工場を上手く組み合わせることによって、高付加価値製品を長期的に供給していく事業形態へ移行し、最大限の企業価値を生み出してきました。

当社におきましても、企業価値の一層の向上を図るため、重点分野としている産業機器・車載機器やIoT機器等に向けた高付加価値製品を長期・安定的に高品質でお客さまへお届けする体制の構築が急務と考えております。そのために従来からのファブレス型事業形態を維持しつつ、当社製品に適した製造パートナーを戦略的な提携関係に基づいてグループ内に取り込み、設計技術と製造技術の緊密な融合を進めることが、今般の資本業務提携及び子会社化の主要な目的であります。

当社とフェニテックは、企業グループとして段階的に一体化を進め、両社の保有する顧客基盤、ブランド、研究開発リソース、販売ネットワークに関わる総合的な力に磨きをかけ、以下のシナジー効果を実現することによって世界トップレベルの競争力と収益力を確立することを目指します。

- 1) フェニテックの各種製品カテゴリーに関わる技術・知見やオリジナル製品を加えて、両社が協力して開発・販売に取り組むことによって、お客さまへご提供する付加価値を高めてまいります。
- 2) 新製品の企画段階から、両社間で製造方法や生産管理手法を含めた協力体制を敷き、開発から製造までを効率よく進めることによって、お客さまへタイムリーに製品をお届けしてまいります。
- 3) 今後当社が開発する産業機器・車載機器向け製品に要する基礎技術の開発、製造キャパシティの整備を協同して進めてまいります。
- 4) 両社の保有する品質管理に関わる技術・設備・ノウハウを持ち寄り、各種の認証制度に的確に対応した品質管理・保証体制の強化を図ってまいります。
- 5) 重複する工程や設備投資等を洗い出し、投下資金の効率化を図ってまいります。

このような観点から、両社が長期的な視野で協同する体制を構築することによって、当社グループの成長機会の拡充と中長期的な企業価値の拡大につながるものと判断し、平成28年3月14日付で資本業務提携契約書を締結いたしました。

(3) 取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額は2,000,175千円となります。

今回の買収に係るアドバイザー費用等140,000千円(概算値)を加えた合計額は約2,140,175千円(概算値)を予定しております。

2. 特定子会社の異動について

(1) 当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金の額及び事業の内容

名称	フェニテックセミコンダクター株式会社
住所	岡山県井原市木之子町150
代表者の氏名	代表取締役社長 伊中 正佳
資本金の額	380,000千円(平成27年12月31日現在)
事業の内容	半導体素子製造業等

(2) 当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数

異動前:	- 個
異動後:	3,689個

当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

異動前:	- %
異動後:	51.0%

(3) 当該異動の理由及びその年月日

当該異動の理由

フェニテックの株主総会において承認を得られることを前提に、同社は第三者割当ての方法により、3,689株の自己株式の処分を行います。当社は、当該自己株式の処分にかかる株式のすべてを引き受ける結果、平成28年4月1日をもって、フェニテックの議決権の51.0%を所有することとなり、フェニテックは同日付で当社の子会社となります。また、(a)当社の最近事業年度において、フェニテックの当社に対する売上高の総額が当社の仕入高の総額の100分の10以上に相当すること、(b)当社の最近事業年度の末日において、フェニテックの純資産額が当社の純資産額の100分の30以上に相当すること、(c)フェニテックの資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当することから、フェニテックは当社の特定子会社に該当することになります。

当該異動の年月日

平成28年4月1日(本第三者割当増資の払込予定日)

以上